

東京都若者総合相談センター「若ナビα」

設立経緯

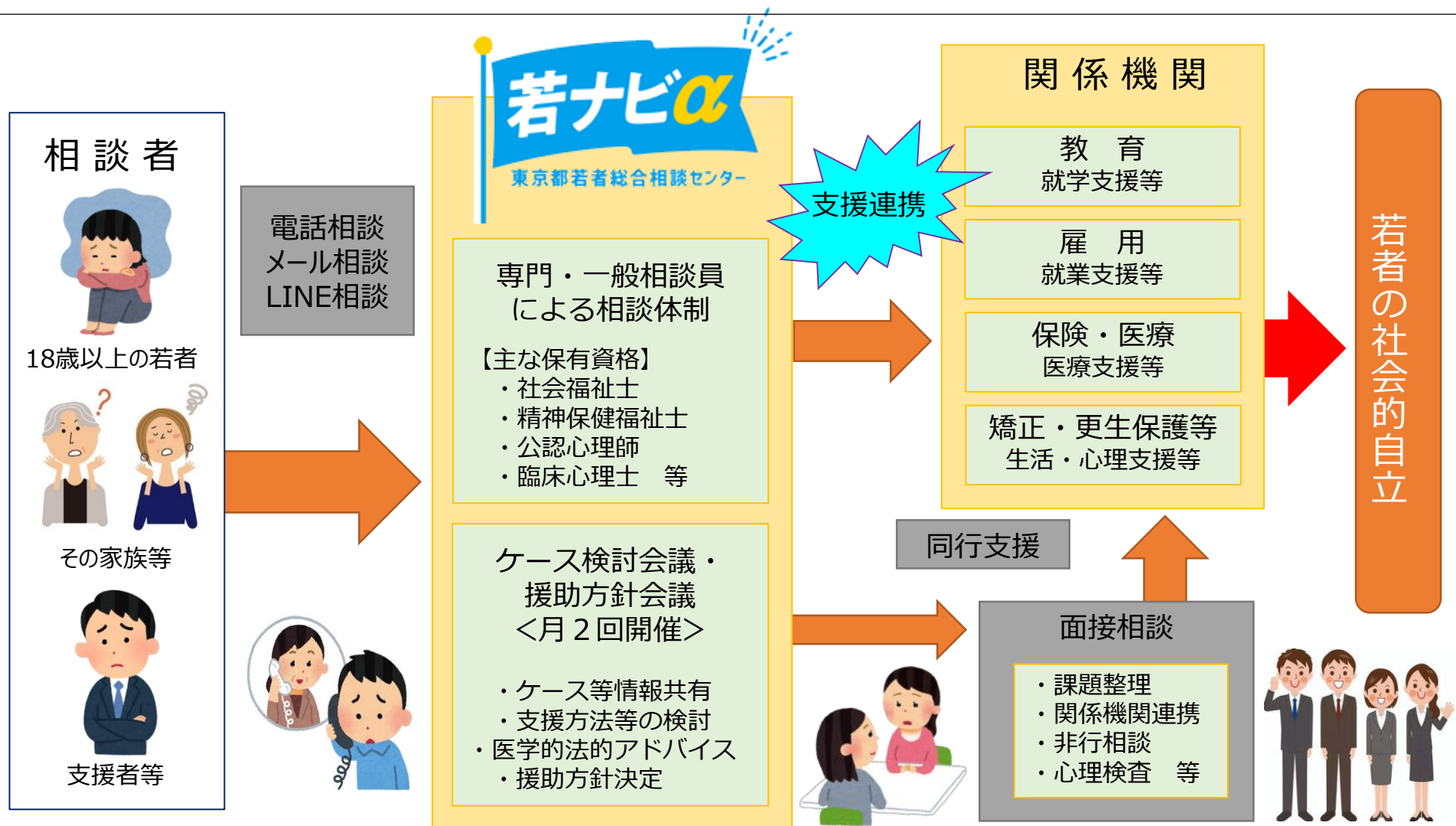
- 平成20年6月に発生した「秋葉原無差別殺傷事件」が契機
- 第27期**東京都青少年問題協議会** 意見具申
「18歳未満の若者は受け皿（児童福祉法、学校教育法等）がたくさんあるが、**18歳以上は大学進学、就職等で世間に投げ出され、フォローする窓口が激減する**。そのため、早期の対応が遅れ、ひきこもり、ネット心中、無差別犯罪（若者の非社会性）まで至って、初めて顕在化することがある。**早期に若者をフォローするための相談窓口が必要。**」

事業概要

人間関係や仕事、孤独などの悩みを抱える若者や、非行歴を有する等により、社会的自立に困難を抱える若者からの相談の一次的受け皿として対応し、必要に応じ、**就労や保健、医療など、適切な支援につなぐことにより、若者の社会的自立を後押し**

- 対象者：18歳以上の若者（都内在住、在勤、在学）及びその保護者等
- 相談ツール：電話、メール、LINE、面接相談
※R2.6～LINE相談開始、R3.5～面接相談におけるオンライン活用開始
- 相談時間：月曜日から土曜日まで 11:00～23:00
※R4.4～ 相談時間の延長（20時→23時）、R4.7～ 利用案内チャットボットの導入、
R5.12～ チャットボット相談開始（予定）

- ◎平成20年6月に発生した「秋葉原無差別殺傷事件」を契機として、18歳以上の若者やその家族を対象として、平成21年7月に東京都若者総合相談窓口「若ナビ」を開設
- ◎平成29年7月に非行少年立ち直り支援フンストップセンター「ぴあすぽ」を統合し、東京都若者総合相談センター「若ナビα」として開設
- ◎若者やそのご家族等を対象に、幅広い分野にまたがる若者の状況に応じて、一次的な受け皿として相談を受け付け、就労や保健、医療など適切な支援機関につなぐことにより、若者の社会的自立を後押し





電話相談

もやもや
03-3267-0808



LINE相談

相談は
LINE@東京

アカウントはコチラ▶



メール相談

🔍 若ナビα



専用サイトで利用者登録後、あなただけの専用画面からご相談できます。(24時間受付)

オンライン
面接相談も可



面接相談

面接相談は事前予約制です。

まずは電話、メール、LINEにてご相談ください。相談の中で、ご本人やそのご家族からの申し出や、相談員の判断により、面接相談のご案内をいたします。

秘密厳守

匿名OK

相談無料

受付時間

月曜日から土曜日まで

11:00～23:00 (年末年始を除く)

(電話・LINE相談の受付は22:30まで)

**令和5年12月中旬～
チャットボット相談も開始**

若ナビα

とは…

若者の相談を広く丁寧に受け止める相談窓口です。

専門の職員が必要に応じてその方にあった専門の支援機関をご紹介します。若者が一歩踏み出すきっかけづくりのお手伝いをしています。

相談員からのメッセージ

- 1人で抱え込んでいるその悩み、気持ちの整理ができていなくても大丈夫。お気軽にご相談ください。
- どこに相談したらいいかわからないその悩み、お話しただくだけで解決の糸口を一緒に探していきましょう。
- 様々な分野(教育、雇用、福祉、保健・医療など)の支援機関とのネットワークを活用して、あなたにぴったりの支援機関をご紹介します。

東京都生活文化スポーツ局の関連事業

若者をサポートするポータルサイト「若ぼた」



あなたの話を聴いてくれる相談窓口を見つけよう!

ネット・スマホ
のトラブル
相談窓口!



インターネット なやみゼロに
0120-1-78302

若ナビα

東京都若者総合相談センター

東京都にお住まいの若者やそのご家族等を

対象とした**無料相談窓口**です。

電話
相談



もやもや
03-3267-0808

よかったら
お話ししてみませんか?

相談したいけど
どこに相談か
わからない

心配かけたく
ないから
まわりの人には
話せない

20～30代の
皆さん

どんな悩みでも大丈夫!

電話
相談



LINE
相談



メール
相談



面接
相談



秘密厳守

匿名OK

相談無料



東京都

📢 相談者の声 📢

20代女性



はっきりした動機もないまま就活し、何も考えずに会社を辞めてしまった。やりたいこともなく無力感に苛まれる。



気持ちに寄り添ってくれ、自分を見つめ直すきっかけになった。相談員さんに迷いながらも自分で何らかの答えを探す力があると言われて、やっと肩の力が抜けた。

20代男性
のご家族



家庭内でお金を盗む行為がずっと治らないため、社会人になってからも人に迷惑をかけてしまうのではないかと不安が募る。



若ナビαで話を丁寧に聞いてもらった上で、心理相談室を紹介してもらい息子を連れて母子面談もできた。すぐには解決しないが、心の拠り所ができて安心した。

10代男性



仕事をしたいけれどもやりたいことが見つからずアルバイト経験もあるが、体調を崩してしまい長く続かず、仕事への自信を失った。



悩みをたくさん聞いてくれ、話しているうちに気持ちが整理できた。両親にも自分の気持ちを伝えることができ、若ナビαから通いたいと思える支援先を紹介してもらえた。

電話相談

LINE相談

メール相談

面接相談



対面だけでなく
オンラインにも
対応

★ 様々なお悩みをお聞きします
★ お悩みに合った支援機関におつなぎします

- 相談は無料です。
- ご本人だけでなく、ご家族等も相談可能です。
- 関係機関や支援者からの相談にも応じます。



- 東京都内に在住、在学、在勤のおおむね18歳～39歳の若者とそのご家族等、及び中学卒業後のお子さんの非行でお悩みのご家族等を対象としています。
- ご利用に伴う電話代、通信費、交通費などは相談者の負担となります。緊急な対応が必要な相談や、医療行為にあたる相談には応じられません。

外国語相談も
行っています

都内に在住し、日本語以外の言語を主とする若者からも、通訳を介した面接相談、またはメールによる相談をお受けいたします。

相談言語 英語(English) 中国語(中文) 韓国語(한국어)

受付方法 ホームページよりお申し込みください。(24時間受付) 🔍 若ナビα



地域の若者支援社会資源ポータルサイト「若ぽた」

<https://www.wakapota.metro.tokyo.lg.jp/> ▶



設立経緯

○ 第31期東京都青少年問題協議会 意見具申

「生きづらさを抱える若者の社会的自立に向けた支援について」

（誰でもどこでも悩みの相談先をネットで探せる「ポータルサイト」の構築）

都において、ひきこもりや非行歴を有する若者を含む、悩みを抱える若者への支援に関する社会資源の情報を総合的に集約し、若者や家族にとっても、支援機関にとっても、最適な相談・支援機関等を用意に見つけることができる仕組み、いわゆる“ポータルサイト”の構築が急務である。

概要

- 地域の社会資源をとりまとめて掲載（252支援機関（令和4年度末））することで、都民が支援機関にアクセスしやすくなる。
- 区市町村においても、広域的な情報収集が可能
- 区市町村の講演会・イベント情報を全都的に広報
- ログインページ内では、他の支援機関に繋ぐ際に有用な情報を参照でき、団体間の連携を促進



若者応援プロジェクト

長引くコロナ禍により社会的・経済的に取り残され、誰にも頼れず望まない孤独・孤立に陥り、悩みや不安を抱える若者を対象に、支援機関等の情報を広く発信し、相談への後押しを行う。

概要

「話してみる」からはじめませんか「若者応援プロジェクト」with イノサク

URL : <https://www.wakamono-pj.metro.tokyo.lg.jp/>



アンバサダー	井上咲楽さん
特設サイトによる 情報発信	「悩みや不安を抱えているみなさんとサポート団体をつなぐポータルサイト」 ✓ 【動画】井上咲楽さんによるメッセージ、井上咲楽さんと当事者との対談 ✓ 【サポート団体相談窓口一覧】 ✓ 【コラム＆利用者の声】サポート団体の選び方、コンタクトの仕方等 ✓ 【サポート診断】質問に答えておすすめのサポート団体を見つける ✓ 【サポート団体とは】サポート団体からのメッセージ

○ポータルサイト・広告・
ポスターによる情報発信

・若者にとって魅力的なサイトを広報

・広告用動画（15秒・30秒）
14.4万回視聴

○サポート団体によるコラム・利用者の声・利用者の体験談

- ・他の人も同じような悩みを持っていることの気付き
- ・同じ状況にあった人の体験談を聞き、どのようにサポート団体を知って相談したか、悩みや不安を乗り越えたかを知る

○おすすめサポート診断

- ・簡単な質問に答えて自分に合うサポート団体を見つける
- ・自分がどの分野のサポートが必要か分かる